

鉛の食品健康影響評価の進め方

有害影響と血中鉛濃度との関係を示す個々の論文の確認

(確認する際の視点)

①疫学調査

地域、人数、性別、曝露経路・時期、血中鉛濃度・IQ等の測定等

②論文の結果・結論

曝露時期と測定時の同一性、交絡因子の調整、影響の所見、対照群との比較、NOAEL/LOAEL、論文作成年、海外評価機関の引用

③論文内容に対する評価(妥当性、判定等)

小グループにより個々の論文を確認(小児、成人)

←第3回WG(08/10/24)

佐藤専門委員、加治専門参考人、吉永専門参考人、村田専門参考人

具体的なレビューの進め方を議論

←第4回WG(08/11/26)

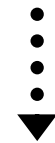
- ・個々の論文を確認した結果、鉛の曝露時期と影響が現れる時期が異なること等から、コホートから得られた複数の論文データをコホート単位で総合的に確認することが効率的であると判断
- ・コホートを補完するものとして、クロスセクショナル研究の論文も確認

小児、成人に関するレビュー

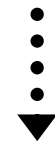
←第5回WG(09/02/10)

- 小児 ポストン・コホート(佐藤専門委員)
- ロチェスター・コホート(吉永専門参考人)
- メキシコシティ・コホート(加治専門参考人)
- クロスセクショナル研究(吉永専門参考人)
- 成人(村田専門参考人)

有害影響を及ぼさない血中鉛濃度の選定(小児、成人)



摂取量への変換モデルの選定



TDIの設定